

石くり通信

12月号

トランプ再選

事務長

石川 都

アメリカ大統領選挙は、接戦という大方の予想を裏切り、トランプの圧勝に終わった。これほど大差がつくとは予想しなかったが、ただあの聡明なヒラリー・クリントンでさえトランプに勝てなかったのだから、という諦念に近い思いもある。それでも前回のトランプ初登場の時とは違い、八年間のトランプ流無法時代を経験してもなお、米国民は理性と秩序のハリスより熱情トランプを選んだということに、米国民の現状不満の根深さと、変革への期待の大きさを改めて思い知った。私達が米国南部にいた頃も、そこはまだ「風と共に去りぬ」の世界であり、住んだメンフィスはキング牧師が暗殺された地、南北戦争もリンカーンならぬ南軍リー將軍の銅像がある地であつた。

地域ごとに根強い差別や偏見があるからこそ、合衆国として理性や法で統治しようと努力してきたのだろうが、社会的混沌や経済的格差が広がる一方の今では、強いアメリカ復帰を鼓舞するトランプに期待する人も多いのかもしれない。民主党のカマラ・ハリスは、バイデン後任としての出足の遅れが最後まで影響したとしても、彼女のスピーチがわかりにくかったことも支持者を増やせなかった理由だと言われる。公開討論の成果を左右するアメリカで、ハリスの演説には通訳が要ると言われていたのは致命的である。

ただハリスの敗戦の弁は見事だつた。「負けたらその結果を受け入れる事こそ民主主義の基本原則である」とし、「暗闘でしか星は見えない」というキング牧師の言葉を引き、多くの人が暗闘に入ったと感じている今こそ、私達の夜空を無数の星で満たそう。樂觀主義・信念・真実・奉仕の光で」と述べる。この樂觀主義(Optimism)、信念(Faith)、真実(Reality)、奉仕(Service)の精神こそ、連綿と流れるアメリカ建国の根本理念である。それらが混沌を極めるアメリカを導く希望の光となるよう祈りたい。

健康が一番

事務

森 多加子

この時期になると『一年つてあつた』という間だなあ』と毎年思っています。来年は何か目標をたてて充実した年にしようと思つたのですが、結局何も出来ずに終わってしまいます。大きな目標をたてるより、健康に過ごせることが一番大事だと思つてきました(笑) 来年も皆さんに明るく元気に笑顔で対応させていただきます。ただけよう頑張ります。良いお年をお迎えください。

師走

看護助手

柴田 さち子

今年も残すところ一カ月となり、段々と寒さが厳しくなりますが、風邪などに負けず、元気に新年を迎えられますように。今年もお世話になりました。来年もどうぞ宜しくお願いします。来年も皆様にとつてよいお年でありますように。



歯の手入れ

院長

石川 悟

年齢とともに歯も歯茎も老化してきます。少しでも長く丈夫な歯で食事をしたいと、いろいろ手入れしている自分の経験を話します。30歳台の後半に、いとこの歯医者で診てもらいました。磨き方が悪い割にはどうにかまともな歯だ、これから食後に必ず糸(デンタルフロス)で歯間をきれいにする様にと、しっかり指導されました。物事を継続するのが全然苦にならない性格なので、言われたのだからほとんど一回も欠かさず糸を使っています。

年齢とともに歯茎の血流も悪くなり、萎縮して歯が浮き上がってきます。これを防ぐのはなかなか難しいのですが、マッサージがいい、と言われていたので、毎朝体操する時に、忘れずにやるようにしています。もしタバコを吸っている方がいたら、歯周病のリスクが非常に高いですから禁煙することをお勧めします。数年前にゴルフ仲間の一人が、ジェット水流で歯をきれいにする器具があり、使ったらすごくいいですよ、という話を聞きました。娘がネットで探して買ってくれました。糸をやった後に、まだ残っている食物残渣がきれいに取れます。最初の器具は妻と二人で酷使したので壊れてしまい、最近ケーズデンキで新しい物を購入しました。

旅行にも糸と歯ブラシは必ず持参します。またできるだけ間食をしないようにしています。これら以外にもやった方がいいということがあれば、ぜひご教示ください。

二〇二四年

看護師

太田 小百合

二〇二四年、今年も残りわずかとなりました。残すイベントはクリスマスと年越し。一年経つのは本当に早いものです。今年も(今年も、かな)長い夏が印象の一年でした。私は大きな病氣もせず、ますます楽しい一年を過ごせました。皆さまはどのような一年だったでしょうか。残りわずかの二〇二四年、ゆっくりお過ごし下さい。



来年こそは

看護師

澤田 彰子

コロナが流行してから友達と会う機会が減ってかなりストレスが溜まっていたが今年にはランチに行ったり、日帰り旅行に出かけたりして楽しい時間を過ごす事が出来ました。また感染者が多くマスクが外せませんが、来年こそはマスクなしの生活に戻れるといいですね。

お世話になりました

事務

吉田 政子

年頭では、健康第一で、何事にも前向きにと、思っていたのですが振り返れば、ただただバタバタと日々忙しく生活し、あつという間に1年が終わろうとしています。残すところ、あと1カ月となってしまいました。年々、12ヶ月が短くなっていると感じているのは、私だけでしょうか?(笑) 今年も大変お世話になりました。また来年もどうぞよろしくお願ひいたします。

和裁と着物

庶務・ウェブ担当

石川 香

着物が好きで和裁を習っています。日々の忙しさに追われながらも、細々と続けています。ほとんど習得はしてなくても、先生の言う通り縫い続け、娘の着物や浴衣、着物の機会も少ないですが、子ども七五三や卒園式、入学式などのイベントで着ています。先日は4歳になった息子の七五三で、東海にある茨城一の宮大神宮にお参りに行きました。主役本人の袴は前々から準備をしていたのですが、日にちが近づき「お姉ちゃんに着るものがない!」と、お姉ちゃん7歳の七五三の着物の肩上げ腰上げをし、黒帯を子どもサイズに縫い直しました。

当日は、私とお姉ちゃん、弟の順で全員分の着付け(子どもは着付けはYouTubeで学ぶ)無事着付けて、お参りする事ができました。私の着物は友人のおばあさん宅にしまつてあつた、昔の着物を洗い張りした生地から作つた着物です。

